

3000万人
署名にあなとも

前・県議会議員 上野たかし

市議会議員 加増みつ子 遠山ちえ子
関戸 勇 小池えつ子

2019年8月11日号

発行: 日本共産党取手市委員会

いじめって何ですか? 子どもと教育を守る取手市民ネットワークが講演会

2015年11月に起きた、市内女子中学生(当時15歳)の自死事件は、県の調査に移され、今年3月20日、県調査委員会が報告書を公表。報告書は、2016年3月16日の市教育委員会臨時会の議決は違法、自死はいじめが原因と、学校・市教委の誤った対応を厳しく批判しました。

過ちは再び起こさせない

8月3日「同じ過ちを繰り返してはならない」「子どもたちに楽しい学校生活を」の思いを教育関係者、保護者、市民と共有し、次のステップへの学習の場としての講演会が開催されました。講演会場の井野公民館に、現職教員・元教員・県議市議・市民ら100人を超える参加者がありました。

いじめられている子からの相談 “ちょっと待て”では手遅れにも!!

講師の小森美登里さん(NPO 法人ジェントルハートプロジェクト理事)の活動は、我が子を、いじめ自死で失った経験をきっかけに始められました。現在まで、小学生から大人まで全国1500回を超える講演を行っています。講演の初めに、「優しい心が一番大切だよ」と、我が子が命を落とす数日前のことばが紹介され、振り返って反省と提案を。遺族の立場から亡くなった娘さんとのかわり、いじめは子どもにとって生き地獄のようなもの、子どもから親や教員に相談があったときは悩んだ末のこと、手遅れにならない速やかな正しい対応が必要と強調されました。



いじめは、虐待!
学校・地域・家庭の連携で子どもを守ろう
講演する小森美登里さん

15歳から20歳代に多い自殺率

全国では15~20歳代の若者の自殺が年々増え、死亡原因事故死6.9%に対し自殺は17.8%。事故死と自殺の割合で、世界でも、日本の自殺率が最も高いことも示されました。

いじめの認知件数は、H27年の22.5万人がH29年には41.4万人に。不登校・中途退学の人数は14.4万人から24.3万人に。どちらも3年で2倍近くに増える深刻な状況が報告されました。

学校・地域・家庭の連携 子どもを守るのは大人の責任

いじめられている子の安全を守ることは当然、同時にいじめている子の心にも寄りそい、その背景をみることも大事。大人の対応の誤りが被害者を加害者に、加害者が被害者になることもある。「学校、地域、親が連携しベクトルを一つにするのが大切」と強調。子どもを守る責任は大人にあると確認し講演を閉じました。

教員の増員で教師の多忙化、行き届いた教育環境の改善こそ最優先の課題です。

いじめから子どもを守るために
教師の多忙化の改善でいきどろいた教育を
日本共産党



いじめ問題で謝罪する藤井信吾市長(中央)ら7月25日、取手市役所

県の懲戒処分を受けた中の2人は、小・中学校長にそれぞれ異格異動。「いじめを隠ぺいした人たちが、なぜ栄転して校長になっているのか」と元保護者や市民、行政内部からも批判と驚きの声が上がっています。

いじめ自死で懲戒処分 県教育庁と取手市

県調査委員会報告(3月20日)に基づき、県教育庁及び市教委は、それぞれ6人の教職員、3人の市職員の処分を公表しました。処分内容は、当時の担任教諭停職1カ月、校長と市教委教育参事と指導課長に減給10分の1(12カ月)。当時取手市教育部長減給10分の1(6カ月)等となっています。

当時担任停職1カ月
減給10分の1(12カ月)など

一方で異格異動

取手市行政トップの市長の処分は9月市議会での決定を予定し、すでに辞職した当時の市教育長は、本人申し出により当時報酬の10分の1(12カ月)の自主返納を認めました。

くらし直撃・8月も食品“便乗値上げ” 消費税増税前 政府は容認

食料品の値上げが8月も相次ぎ、暮らしを直撃します。キッコーマンは1日、トマトジュース、野菜ジュースなどを4~5%、永谷園は即席みそ汁、総菜、ホットケーキなどを5~10%。ピエトロも1日、ドレッシング12品目を6~8%程度値上げします。いずれも原材料価格や物流費の値上がりを理由にしています。

食品業界は3月以降、飲料、麺製品、冷凍食品などをいっせいに値上げしています。8月の値上げもそれに続くものです。大手各社が横並びで値上げに踏み切る一因に、昨年11月28日、政府が公表した文書「消費税率の引上げに伴う価格設定について(ガイドライン)」があります。内閣官房、公正取引委員会、消費者庁、財務省、などの連名です。

消費税率引き上げを理由としたそれ以上の値上げについてガイドラインは、従来「便乗値上げ」として抑制を求めてきましたが、消費税増税前に「値上げを行うなど経営判断に基づく自由な価格設定を行うことを何ら妨げるものではない」としています。事実上、増税に便乗した値上げを容認する指針です。大手の製品値上げは中小小売店にも大きな打撃をもたらします。

各種公共料金も軒並み改定

下水道料金が7月4日取手地方広域下水道議会で、水道料金は3月に水道議会でそれぞれ可決。共産党議員は、「消費税増税に国民多数は反対、増税に伴う料金値上げは認められない」と反対しました。

手紙・はがき、JR・私鉄各社の運賃も改定が決まっており、誰が見ても景気悪化になることは明らかです。

参院選

「安倍9条改憲」の野望許さなかった 市民と野党の共闘

定数1選挙区の共闘効果 統一候補の得票 野党比例票の127%

7月21日投開票の参院選で、自公与党と維新「改憲勢力」は、改憲発議に必要な「3分の2」を割りこみ、自民党は9議席減で単独過半数を失いました。32の一人区すべてで統一候補を擁立した野党は、改選2議席から10議席に躍進。野党候補の得票は32選挙区中29選挙区で共闘4野党の比例得票を超え、32選挙区合わせて比例得票を127、4%上回りました。3年前よりも共闘効果をアップさせた市民と野党共闘の力が、首相任期中の改憲に執念を燃やす、安倍首相の思惑を打ち砕いたのでした。

世論は改憲NO 国会勢力3分2割れ 安倍首相それでも改憲に執念

安倍首相は、選挙中、消費税増税や年金問題を避け、もっぱら「野党共闘攻撃」と「改憲を議論する党か、しない党かが大争点」と争点そらしに躍起でした。選挙後の記者会見で安倍首相は、与党

が改選過半数を超えたことで「国民から力強い信任を得た」と開き直りましたが、安倍首相の強気の姿勢に、野党ばかりか与党内の幹部からも異論が出されています。選挙直後の世論調査でも、安倍政権下の改憲に「反対」が56%と、賛成32、2%を大きく上回っています。

N国は、改憲補完勢力？ 「NHKから国民を守る党」

選挙で1議席を得たNHKから国民を守る党は「千島を戦争でとりもどす」との言動で、維新を除名された丸山穂高議員を迎え、渡辺喜美議員と「みんなの党」会派を組むなど、なりふり構わず党勢拡大を図っています。「自民党がNHKのスクランブル放送を認めるなら憲法改正の国会発議に賛成する」と、憲法を取り引き材料にする大変危険な政治勢力としての警戒が必要です。

日本共産党が2015年の安保法制＝戦争法強行直後に「国民連合政府」を提唱してから4年がたちました。私たちは、改憲勢力3分の2割れを実現した「市民と野党の共闘」の成果を確信に、「改憲ノー」へ全力を尽くします。

取手市生活保護法違反認め移送費返還手続き

市が精神保健福祉法に違反し強制的に移送入院させ、更には移送費17万2000円を捻出するため、本人の同意もなく生活保護申請書を偽装し移送費を生活保護費から不正に受給したことが6月議会で問題となりました。この問題で市は「個人情報につき答えられない」と繰り返すばかりで、答弁を拒否し続けました。

6月25日、この事案について細谷典男議員、共産党の関戸勇・加増みつ子議員は、厚生労働省とヒヤリングを行いました。

その後7月30日、福祉部長は、移送費を捻出するために生活保護申請書を「市のケースワーカーが代筆した」と市の手続きの違法性を認め、国・県への返還手続きを進めていることを明らかにしました。

党市議団は「保護申請の偽装によって支出した移送費の返還をどう進めるのか」と質すと「利用した本人に求め、出せない場合は、家族に求める」と答弁。本人同意もなく、申請書偽装は市の責任とたまたすと、「本人にきちんと説明し了解を得る努力をします」と繰り返すのみでした。法を犯した者が被害者に損害を請求するという不正への反省も見られない全く驚くべき市の態度です。日本共産党は、取手市の生活保護法違反をただすとともに、精神保健福祉法違反の真相解明に尽くします。

JCPとりでふれあい
9月7日 **フェスタ**
AM1000-PM2000
【取手駅前口】
場所 **ウェルネスパーク**
フラッグビル

模擬店でお買い物、お休み処で飲み物を飲みながら談笑
ステージは音楽のお楽しみ
梅村さえ子前衆院議員と党市議がそろってご挨拶も・・・
どなたもお気軽にお出かけください。

模擬店

- ・産地直送野菜
- ・海産物
- ・ビール・地酒
- ・やきそば
- ・やきそば
- ・お赤飯
- ・フリーマーケット
- ・小物・雑貨

戸頭駅前の側壁改修はじまる



崩れかける歩道の側壁

← 改修工事が始まった戸頭駅に通じる歩道(7月16日)

戸頭の共産党後援会の皆さんが地域の危険個所の調査を行い取手市に改修を求め、関戸議員が6月議会で取り上げた戸頭駅に通じる歩道側壁の改修工事がはじまりました。

8月中の工事完了予定で進

んでいますが、工事終了は、9月に入るとのこと。

その他にも、地域の方から要望された歩道の凸凹の危険か所や道路の「止まれ」の停止ラインの表示の改修も進んでいます。

藤代駅 みどりの窓口が閉鎖でこんなことが

藤代駅改札口にあった「みどりの窓口」が今年4月15日から閉鎖されました。

先日、殺伐とした場に出会いました。自動券売機に不慣れな婦人に付きっきりで対応に追われる駅員。そこに精算する客があらわれましたが対応できないため、客は駅員室にいた駅員に声をかけましたが「私は休

憩中ですよ」と返されたため、ひと悶着。乗車券を求めていた婦人はしきりに恐縮。

取手駅東口改札口も2017年4月に無人になり利用客は不便を強いられています。窓口閉鎖や改札員の削減など合理化の波はこんな場面も作り出されています。



今年4月までの改札口



「みどりの窓口」が廃止された現在の改札口